

令和4年2月25日
教育委員会事務局

新型コロナウイルス感染症に係る教育委員会事務局の対応について

新型コロナウイルス感染症に係る教育委員会事務局の対応について、下記のとおり報告する。

記

1 区立小・中学校における「通常授業とオンライン学習の選択制」の実施

(1) 実施期間

2月13日（日）までとしていた選択制を「まん延防止等重点措置」期限まで延長する。

(2) 通常授業とオンライン学習の選択状況

○小学校：通常登校 87.4% (79.0%) オンライン学習 12.6% (21.0%)

○中学校：通常登校 80.7% (76.4%) オンライン学習 19.3% (23.6%)

※2月14日現在（1月28日現在）

(3) オンライン学習の活用事例

別紙のとおり

2 区立幼稚園について

2月13日（日）までとしていた分散登園を「まん延防止等重点措置」期限まで延長する。

3 宿泊行事について

宿泊行事は子どもたちにとって貴重な体験の機会であることを踏まえ、行事前の抗原定性検査を活用しつつ、保護者に感染症対策を示し理解を得るとともに、参加の意思確認を再度行い、教育委員会と学校が連携し実施について判断する。

- ・川場移動教室（小学校1校：3月7日～）
- ・日光林間学園（小学校4校：3月9日～15日の間）
- ・修学旅行（中学校20校：3月4日～16日の間）

4 教職員に対する新型コロナウイルスワクチンの優先接種

教職員に対する優先接種（3回目）については、以下のとおり各学校（園）に周知して実施している。

ワクチン接種の機会	対象者	予約開始時期
東京都大規模接種会場における接種	区立小・中学校、幼稚園に勤務する教職員等	2月4日（金） 午後4時～
区の集団接種会場における接種	区内在住の区立小・中学校、幼稚園に勤務する教職員	2月14日（月） 午前8時半～
楽天グループによる接種	区外在住の区立小・中学校、幼稚園に勤務する教職員	2月28日（月） 午後5時半～

5 新BOPについて

引き続き感染防止対策を徹底し、3密回避の工夫を行った上で運営する。

※「まん延防止等重点措置」期限まで、児童が自宅で過ごすことが可能な家庭については、最小限の利用となるよう協力を依頼する。

6 学校施設開放について

感染防止対策を徹底した上で学校施設を開放する。

7 図書館・図書室・図書館カウンターについて

感染防止対策を徹底した上で開館する。

8 区立小・中学校での感染発生状況（直近3か月の推移）

	区立小学校		区立中学校		合 計	
	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数
12月	6人	6校	1人	1校	7人	7校
1月	991人	61校	291人	29校	1282人	90校
2月(23日時点)	2103人	61校	366人	29校	2469人	90校

（注）人数は児童・生徒及び教職員等の陽性者数。学校数は陽性者が発生した学校の実数。

別紙

オンライン学習の活用事例

1 主旨

区内の全ての教員が適切にオンライン授業を実施し、児童・生徒が学校でも自宅でも着実に学習に取り組むことができるように、オンライン学習を実施する上で役に立つ事例紹介を行った。作成はICTインフルエンサーやICT支援員が担い、Teams等を活用して共有を図った。

2 取り組み事例

- (1) Teams (ブレイクアウトルーム) とロイロノートの有効活用
- (2) Zoomブレイクアウトルーム～チャットで対話～
Teamsブレイクアウトルーム～発表会の練習～
- (3) ロイロノートの画面共有で導入
児童ごとの進捗の把握・成果の共有
- (4) Teamsで課題を提出させて、コメントを返信する
- (5) クラスの連絡におけるTeamsの利用
板書を全てロイロノートに
- (6) 自宅学習と教室を結ぶ
学習計画表の作成
- (7) Teams & ロイロノート～通常授業～
Teamsブレイクアウトルーム～生徒同士の話し合い～

Teams（ブレイクアウトルーム）とロイロノートの有効活用

**協働的に問題解決をする場面の設定**

同じ教室内でも、ブレイクアウトルームを設定すれば、ハウリングすることはありません。課題解決のために、顔を見合わせてのグループ活動が可能となります。

**対話的な学習活動～Teamsとロイロノートの併用～**

ブレイクアウトルームで分かれたあと、生徒間通信ができる状態にします。

話し合いながら、自分の作ったカードを送り、話し合いながら学びを深めていきます。

Zoomブレイクアウトルーム～チャットで対話～



対話的な学び ～チャットで対話～

Teamsでブレイクアウトルームを開くときに、重くて時間がかかってしまうので、Zoomを使ってみました。今回は登校している子どもが多かったので、「チャットでの話し合いの方が便利」という声があがりました。自分たちで、その場に合った学習方法を選択しています。

ICTインフルエンサー 作成

Teamsブレイクアウトルーム～発表会の練習～



英語発表会練習

Teamsのブレイクアウトルームを使いながら、相手にロイロノートのカードを見せたり、声を聞き合ったりと、抵抗なく自分たちで練習を進めることができます。

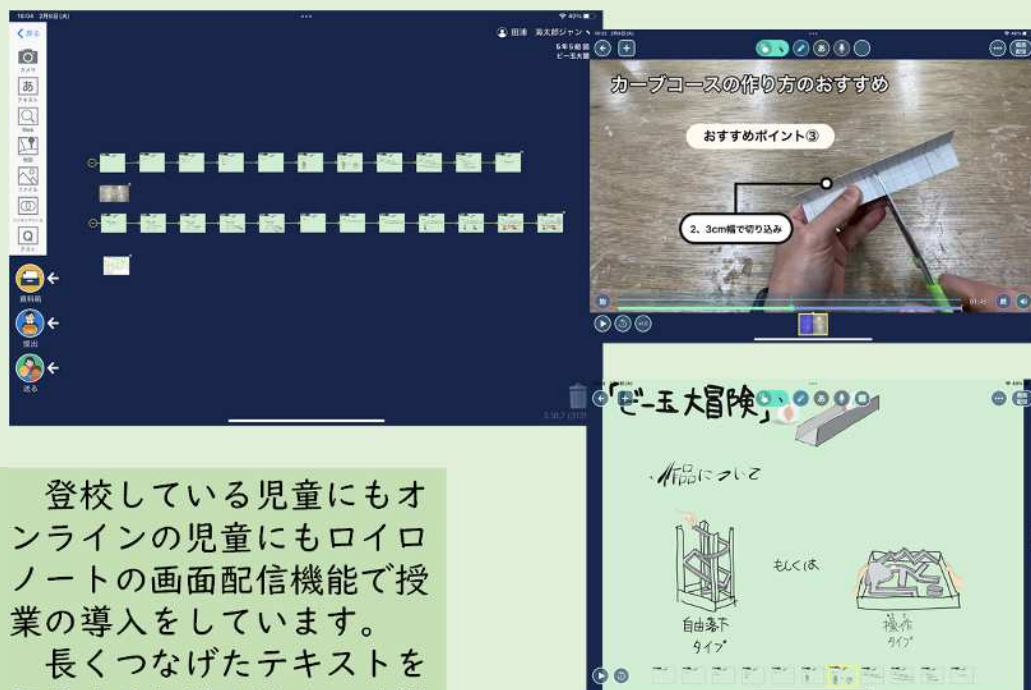


教室環境ちょっとご紹介

- ・パソコンでTeams
 - ・iPadでロイロノート
 - ・音声はスピーカーフォン
- この他に、三脚にiPadを立ててそちらもteamsに参加。教室の子どもたちの様子を映しています。



ロイロノートの画面共有で導入



登校している児童にもオンラインの児童にもロイロノートの画面配信機能で授業の導入をしています。

長くつなげたテキストを配信すると読み込みに時間がかかるので、区切りの良いところで分けたり、動画は動画だけで共有したりしています。

楽しくなるような資料にしようと絵を入れています。

「声はTeams、資料はロイロ」に子どもたちもとても慣れました。

児童ごとの進捗の把握・成果の共有



授業ごとに作品の写真を撮り、ロイロノートでテキストに貼り付けて提出させています。

作品が完成していく流れが見え、オンラインの児童でもどのように学習に取り組んでいたか把握することができます。

児童も見通しをもって授業に臨むことができ、完成に向け意識して取り組むことができます。

振り返りまで書けるテキストにすることで、初めから終わりまでを一つのテキストで確認することができます。

提出箱を共有し、友達の作品やその思いに触れることで同じ教室にいなくても友達の作品を鑑賞することができます。

ICTインフルエンサー 作成

Teamsで課題を提出させて、コメントを返信する

言語活動の充実～教科「日本語」の実践例～

教科「日本語」で投書に取り組みさせた時、生徒に作文用紙に書くか、Wordに書くか選択させました。Wordを選択した生徒には Teamsの「課題」機能を使って課題を配信して、提出させました。



「課題」機能の活用



Teamsの画面下部に「課題」というアイコンがあります。これを使うと課題の配信・回収・コメント送付等が簡単にできます。

教師からのフィードバック



フィードバック機能で、コメントを入れて返却するのも簡単にできます。

ICTインフルエンサー 作成

クラスの連絡におけるTeamsの利用

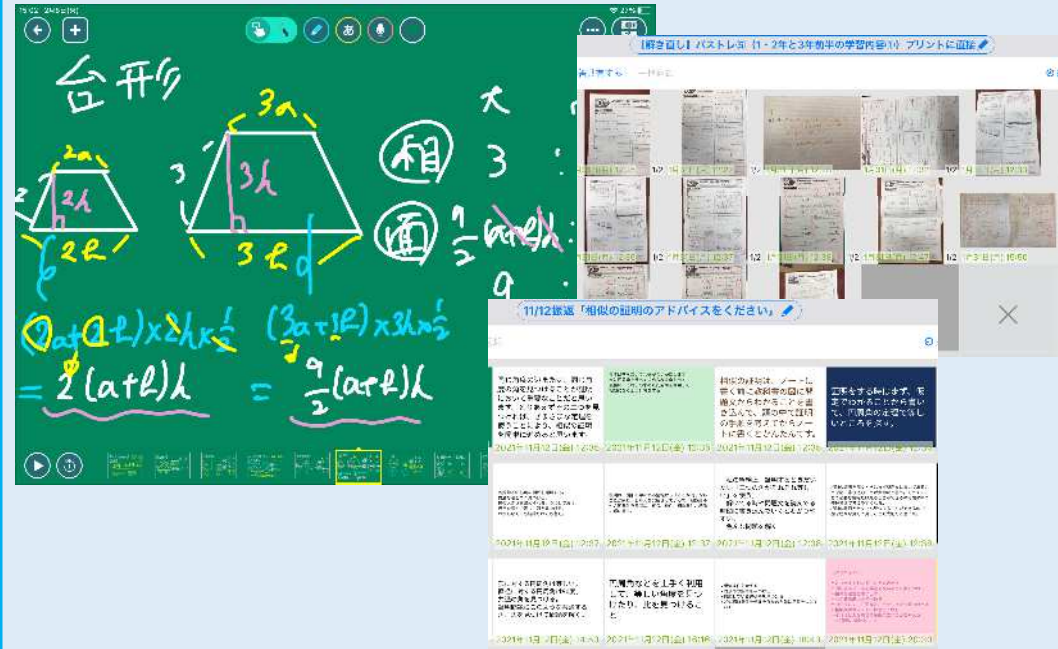


クラスのTeamsを使って毎日オンラインで学習する生徒に連絡をとっています。

「@名前」で個別指定でメッセージを送れるので提出物の管理もしやすくなっています。

ICTインフルエンサー作成

板書を全てロイロノートに



1年間、板書やワークシート、振り返りなどをロイロノートで継続して配信しました。オンライン学習の際も黒板だと字が見えづらいなどありましたが、ロイロノートの画面共有だと、ほぼ不満はありませんでした。教科書なども同時に流せるので、「今何をしているの?」と分からなくなる生徒は激減し、指示が通りやすかったです。

また、「提出箱」や「資料箱」を利用して、意見交換や課題の提出をしたりより深い学びを実現できます。

自宅学習と教室を結ぶ



What 's This?
~クイズ大会をしよう~

ロイロノートの生徒発表の機能を活用して、英語でクイズ大会をしました。みんなで同じ画面を見てヒントもたくさん出せます。

モニターとタブレットを繋げば、自宅で学習している子どもも発言できます。みんなで楽しむことができます！

ICTインフルエンサー作成

学習計画表の作成

世田谷区の様子や人々の生活の様子はどのようにうつりかわってきたのだろう。

学習計画表	交通	土地利用	公共施設	人々の生活	
自分へ、何をどのようになんていへるか	問 い (めあて)	今までどのようにして移り変わってきたのだろう？	どのように農家や住宅が移り変わってきたのだろう？	学校や区役所はどのように移り変わってきたのだろう？	人々の生活は、どのように移り変わってきたのだろう？
問 い (めあて)	ど の よ う に 調 べ る か (調 べ 方)	IPadを使って昔の交通の写真や今の交通の写真を見てどのように移り変わってきたのか調べる。	Padで今と昔の同じ所の写真を見てどのように移り変わってきたのか見比べる。	世田谷区のホームページをみる	昔の人々の写真や今の写真を見てどのように人々の生活が移り変わってきたのか調べる。
問 い (めあて)	何 を ふ り か え る か	昔と今の違いや疑問に思ったことを振り返ります。	土地利用の変化について振り返る。	いまと昔の公共施設の違い。	昔はどのように移り変わってきたのか振り返る。



自分で学ぶための工夫

単元の学習に対して、自分で学習の計画を立てます。学習問題に対して「めあて」「調べ方(学び方)」「ふりかえり」の3つの視点で考えます。自分で考えることで急にオンライン学習になった時にも自分の力で対応していくことを目指します。

Teams & ロイロノート ~ 通常授業 ~



Teamsとロイロノートに同時にアクセスして授業を配信しています。Teamsでは音声を届け、ロイロノートでは画像を届けています。

対面授業をしている時も、ロイロノートで画面を配信しながら授業をしていることが多かったため、オンラインになっても対面授業と同じように授業を展開できます。

Teamsブレイクアウトルーム ~ 生徒同士の話し合い ~



一方通行になりがちなオンライン学習でも、ブレイクアウトルームを利用することで話し合いが活発に出来ます。

授業がスムーズにできるよう、あらかじめルームを作成し班ごとに割り振っておきました。教員も各ルームに参加して、生徒のやりとりを確認することが簡単にできます。

ICT支援員 作成